

平成 26 年 1 月 30 日
アンジェス MG 株式会社

東大病院先端医療開発フォーラムの報告について

当社は、東京大学医学部付属病院に産学連携の拠点として設置されている「22 世紀医療センター」において平成 16 年より寄附講座を設け、当社が専門とする先端医療技術である遺伝子医薬品に関する新しい治療法の開発とその臨床研究の推進を目指して活動しております。

この度、東大病院における先端医療開発の現状と成果を紹介するフォーラム「アカデミア発 研究開発における産官学連携の加速」が開催され、当社の寄附講座である東大大学院医学系研究科先端臨床医学開発講座の鈴木淳一准教授から、「核酸医薬による新しい血管形成デバイスの開発」の発表がありましたので報告いたします。

鈴木准教授のグループは、当社が手がける核酸医薬 NF- κ B デコイオリゴを利用した新たな血管形成デバイスの研究開発を進めています。NF- κ B デコイオリゴには血管の炎症を抑える働きがあり、血管の再狭窄（詰まった血管を広げる治療をした後に再度、血管内部が狭くなる症状）予防が期待されます。また、NF- κ B デコイオリゴには血管内皮細胞を保護する作用も保有することから、既存の薬剤溶出型ステントなどで必要な抗血栓療法（副作用としての血栓を抑える治療）が不要となる可能性があります。鈴木准教授のグループは、この NF- κ B デコイオリゴの二つの特徴を生かした新しいタイプの血管形成デバイス（薬剤溶出ステント）の実現に向けて研究を進めています。

当社は、先端医療の研究と提供で大きな実績を持つ東大病院との連携により、革新的な医薬品・デバイスの実用化に向けて新しい技術シーズの確保と事業化の可能性が飛躍的に高まるものと期待しております。

以上

お問い合わせ先

アンジェス MG株式会社 経営企画部 広報グループ

TEL: 03-5730-2641